

1 新教育ビジョン（原案）について

(1) 「教育ビジョン2022の策定について」について

○2 ページ9行目：権利に関する記載について

- ・児童福祉法に子どもの権利条約が明記されたことは大きい。教育ビジョンには、子どもの権利条約、障害者の権利条約の記載が欠かせないのではないか。
- ・いずれも重要なことだが、さまざまな権利がある中でこの2つだけを取り上げるのはどうか。
- ・「〇〇条約、〇〇条約をはじめとして・・・」といった記載はどうか。
- ・記載は原文のとおりとし、条約については注釈として記載してはどうか。
- ・現在作成中の基本構想においても子ども分野に「子どもの権利擁護」といった記載がある。
- ・条約名を入れ込むことがメッセージにつながるのではないか。
- ・原案どおりの記載でよいのではないか。
- ・「〇〇をはじめとして・・・」と記載すると、順位性が生まれるのではないか。
- ・条約名を記載すると、記載した条約（例：子ども）に特化してしまう印象を受ける。今回のビジョンは「みんなでやっぺいこう」というところがポイントではないか。
- ・〇〇条約やSDGsなどの難しい言葉が出てくると、難しい、硬いという印象を受ける。調べるきっかけにはなるかもしれない。
- ・権利条約は重要なこととして認識しているが、区のアンケート等においてもLGBTなど一人ひとりの抱える悩みは多様なので、特化した記載は避けた方がよいのではないか。
- ・いろいろな条約があり、注釈を付けると重たい印象になる。
- ・注釈を記載するにしても補足程度がよいのではないか。
- ・今回作成するビジョンは、みんなで育てていくものである。これからの社会に対応できるよう、幅広にとれる方がよいのではないか。
- ・子ども自身が知っておくべきこととして学ぶ機会を設けるなど、ビジョン推進計画に盛り込んでいくのはどうか。

【方向性】

基本は原案の方向とする。

○1 ページ44行目：「学び合い（かかわりとつながり）」の記載について

- ・「学び合い」のみの記載のほうがわかりやすいのではないか。

○2 ページ16行目：「学び手であり教育の担い手として・・・」の記載について

- ・学び手等の記載を削除し、生きるための羅針盤となるよう、としてはどうか。
- ・唐突な印象があるので、削除するか、5ページ4行目「学び手であり、同時に教育の担い手でもある」のような記載としてはどうか。

(2) 「I 私たちが大切にしたい教育」について

フレーズ案

①学び合い、思いおくり合い、夢つむぎ出す、杉並の教育

②みんなのしあわせを創る杉並の教育 ～学び合い、思いおくり合い、夢つむぎ出す～

③学び合い、しあわせを創る杉並の教育 ～思いおくり合い、夢つむぎ出す～

大切にしたい教育

◇学び合い、信頼をつくり、共に生きる

◇ちがいを認め合い、自分らしく生きる

◇誰もが社会の創り手になる

○フレーズについて

- ・一般区民がわかりやすい言葉がよい。
- ・「思いおくり合い、夢つむぎ出す」は、助詞「を」がなく違和感がある。
- ・「おくる」には、「送る」、「贈る」の両方の意味がある。思いが何であるかについては、受け取る人がさまざまにイメージを創ってほしい。
- ・7ページ22行目の「学び合い、思いをおくり合い、夢をつむぎ出すことができるよう」というのは素敵な文章である。このコンセプトはよいと思う。
- ・③がわかりやすいが、一步間違えると安っぽい印象にもなる。
- ・「夢つむぎ出す」はわくわく感が感じられてよいと思った。
- ・②は簡単に見えるが、重みがある。ものすごく大きいこと。掲げられるなら素晴らしい。
- ・②の「しあわせを創る」はゴールがあってよい。
- ・①に助詞「を」を入れるか②か。②は「しあわせを創る」が上位概念になるか。
- ・「夢」より「未来」がよいのではないか。
- ・「未来」とすると時間軸が入ってしまう印象。わくわく感を「夢」で表現。
- ・②「みんなのしあわせを創る」とすると、「杉並区がしあわせにしてくれる」と受け取られる可能性があるのではないか。本文を読めばそうではないことはわかるが、気になる。
- ・「夢」が入っているのは素敵。
- ・当事者感が出るので「みんなのしあわせをみんなで（みんなが）創る杉並の教育」はどうか。
- ・なるべくシンプルなほうがよい。現在のビジョンを土台にして、みんなで幸せな社会を創っていかう、というイメージ。
- ・「共育」をフレーズに生かせないか。

【方向性】

②の方向とする。

○3ページ20行目「循環」と4ページ12行目「連鎖」について

- ・「循環」と「連鎖」の使い分けはあるか。
- ・「循環」というのが硬い印象を受ける。

【方向性】

「循環」はつなげていくこと、「連鎖」は教え合うことを連鎖させていくという意味。他の表現を検討する。

○4 ページ5 行目：「安心・安全な環境のもとで」を追加することについて。

- ・安全・安心でないと関係性がつくれぬ、というのは少しちがうのではないか。安全、安心をつくっていく、作り出すことはよいことだが、あまり強調しないほうがよいのではないか。
- ・相手を否定しない、ということが一番言いたい。

【方向性】

全体として整える。

○その他

- ・4 ページの3 点は、この社会に生きる人のあり方を表す。
- ・4 ページの3 点と、フレーズの（学び合う、思いをおくり合う、夢つむぎ出す）との関係性として、以下の一対一ととらえているが、合っているか。

学び合う	： 学び合い、信頼をつくり、共に生きる
思いをおくり合う	： ちがいを認め合い、自分らしく生きる
夢つむぎ出す	： 誰もが社会の創り手になる

【回答】意図して一対一としたものではないが、そのようにとらえてもらえるのはありがたい。

フレーズはビジョン全体を示すもの。子どもも大人も解釈が様々にできるように。

- ・3 ページ19 行目「かわり合い」は「思いをおくり合い」のほうがよいのでは。
- ・3 ページ21 行目「みんなが創る教育」は、あえて「みんなで」ではなく「みんなが」としている。「みんなが」とすることで、一人ひとりが創る、ということを出す。
- ・4 ページ5 行目「信頼できる関係性が必要であり・・・」とあるが、信頼できる関係性があるて学び合うのではなく、学び合うことを通して信頼をつくり共に生きていく、ということではないか。

(3) 「Ⅱ一人ひとりが教育の当事者となるための視点」について

- 1 子どもの思いを尊重する
- 2 ちがいを受け入れる
- 3 対話を大切にする
- 4 社会を創る当事者として考える
- 5 学びの成果を分かち合う

- ・1～5の表記をすっきりとさせてはどうか。（例：1 思いを尊重する、4 社会を考える、5 学びを分かち合う）
- ・3 ページに記載されている「みんなが創る教育」が、6 ページにも同様に記載されている。貫かれておりよいと思う。
- ・4の本文中に、「希望のあるまちをつくる」とあるので、4と5を入れ替えては。その際、5の最後の2行を4の最後に付すことで、「みんなが創るまち」につながる。
- ・5の「学びの成果を分かち合う」は、「贈り合う」がよいのでは。

(4) 「Ⅲ教育行政の取組の方向性」について

- ・ 7ページ14行目「主な取組として～仕組みを整えます。」が、設備第一主義に聞こえる。デジタル活用も必要と考える。
- ・ 「学びのプラットフォーム」がどんなものかわかるように。イメージを共有できていない。

(5) 全体に関すること

- ・ 草案よりも読みやすくなった。
- ・ 文章中に「一人ひとり」が多いので、整理したほうがよいと考える。
- ・ 全体として「よりよい」という記載を外した方がよいのではないか。

○今後の方針

今回の議論をふまえて修正を行う。

次回の審議会での答申に向け、委員とのメール等でのやり取りを行い、推敲する。